

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学Ⅱ (理学療法学科・作業療法学科)		必修 (作) 選択 (理)	2	2 (作) 2.3 (理)	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
久保木 智洸	講師控室	kyoumu	授業終了後と 随時メールで質問受付		
授業の目的・概要	作業療法士や理学療法士が臨床を行う上で、精神疾患とその治療に関する知識は必須である。特に作業療法学科の学生においては、精神科作業療法を行う際に、その介入の根拠となるような精神疾患の基礎的知識の習得を目指す。同時双方向型授業であるため、疑問点について議論や意見交換を行い、精神医学に対し理解を深める。				
学習上の助言	教科書の内容を中心に扱うため予習をすること。授業内容に関する質問は、授業中のみならず授業終了後や随時メールでも受け付けている。積極的に質問をして疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	精神医学 第4版増補版 (標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野) / 編集: 上野武治 / 出版社: 医学書院 / 出版年: 2021年 (昨年度精神医学Ⅰを受講した者は、増補版でないもので可)				
参考書	現代臨床精神医学 改訂第12版 / 原著: 大熊輝雄 / 出版社: 金原出版、精神医学 (精神保健福祉士養成セミナー1 第6版) / 編集: 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会 / 出版社: へるす出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神医学に関する基礎的な知識を習得し、それを説明することができる。			PT(3)、OT(2)	
②	代表的な精神疾患に関して、その治療法や対処法を理解している。			PT(2)、OT(3)	
③	精神医学の歴史を理解し、人権擁護の重要性を認識する。			PT(1)、OT(1)	
④	精神医学に関する探究心を持ち、他者との議論を元に理解を深めることができる。			PT(4)、OT(3)、HSU(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	てんかんについて学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P115-126 を読み、てんかんを理解する。	4	
2	統合失調症について学習する①	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P127-148 を読み、統合失調症を理解する。	4	
3	統合失調症について学習する②	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P127-148 を読み、統合失調症を理解する。	4	
4	気分(感情)障害について学習する①	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P149-163 を読み、気分障害を理解する。	4	
5	気分(感情)障害について学習する②	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P149-163 を読み、気分障害を理解する。	4	
6	映像資料をもとに主要な精神疾患について学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	映像資料の感想をもとにレポートを作成する。	4	
7	神経症性障害について学習する①	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P164-175 を読み、神経症性障害を理解する。	4	
8	神経症性障害について学習する②	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P164-175 を読み、神経症性障害を理解する。	4	
9	生理的障害および身体的要因に関連した障害について学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P176-180 を読み、摂食障害や睡眠障害を理解する。	4	
10	成人のパーソナリティ・行動・性の障害について学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P181-187 を読み、パーソナリティ障害を理解する。	4	
11	知的障害・心理的発達の障害について学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P188-206 を読み、知的障害と心理的発達の障害を理解する。	4	
12	ライフサイクルにおける精神医学について学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P215-229 を読み、ライフサイクルにおける精神医学を理解する。	4	
13	精神障害の治療とリハビリテーションについて学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P231-253 を読み、治療とリハビリテーションを理解する。	4	
14	精神科保健医療と福祉、職業リハビリテーションについて学習する	講義(同時双方向型遠隔授業)	教科書 P254-279 を読み、精神科保健医療と福祉、職業リハを理解する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系/旧カリキュラム】

15	14 回までの学習のまとめ	講義(同時双方向型遠隔授業)	配布資料をもとに講義内容の復習をする。	4			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	20	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	学期末に穴埋め式のテストにて評価する。主に教科書および授業内で提示した資料を元に出題をする。テスト結果が全体の 50% の評価となる。		試験の添削と返却によりフィードバックを行う。		
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	映像資料の感想と、その内容に関連した生徒自身の興味や関心について他者に伝わるように論じる。その内容と文章構成について評価する。(全体の 20% の評価)		コメントをつけて返却する。		
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業への参加や発言の態度を総合的に評価する。(全体の 30% の評価) 積極的に発言をすること。		授業や課題に対する取り組み方を解説する。		
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎久保木 智洗</p> <p>授業は主に、教科書の重要箇所を元にして、配布資料の穴埋めに対する回答を学生に求める。教科書をよく読み、予習をした上で授業に参加をしてください。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性もある。</p> <p>教員の実務経験： 精神保健福祉センターや精神科医療機関、教育事務所で精神保健福祉の支援者として 7 年の実務経験。 実践的授業の内容： 教科書の内容や教員の体験による実例を通し、臨床の場で必要となる精神科領域の病気や診断、治療に関する知識を学習する。</p>							